

令和6年度 まちづくりを考える日 報告

- 1 日時 令和6年7月31日(水) 13:30~16:30
2 会場 島根県民会館 大会議室 (松江市殿町158)
3 目的 多くの市民の皆さまと一緒に身近な地域活動や取組に触れながら、まちづくりを共に考え、実践がイメージできる機会を提供する
4 内容 地域の取組事例発表、活動展示ブース

5 参加状況

区分	参加者数
行政・公的機関 (島根県6、大田市、社協・地区社協5、公民館11、公益財団法人3、民児協1)	27
松江市町内会・自治会連合会関係者	41
市職員	14
企業	3
市民活動団体	4
その他(市議会議員、市民など)	23
発表団体	15
参加者(会場)合計	127

(事務局17名を除く)

6 発表事例

「補助金グループ」「NPO・市民活動団体グループ」「町内会・自治会グループ」の3つのグループから、合計8つの団体に事例発表いただきました。

- 地域とともにある「子どもの居場所づくり」【NPO 法人スペース】
- 災害時における地域連携について【意宇川沿線地域災害対応連絡会議】
- SUP でつながる、島根町の魅力創出事業【公益社団法人 松江青年会議所】
- 松江ahaha!フェスティバル【ahaha!】
- スーパーのない地域に私たちの手で賑わいを作り隊!【ちくや朝市実行委員会】
- 高齢者の見守りを通じた地域の防災活動【祖子分町内会【祖子分見守り隊】】
- 入江の宝発掘プロジェクト【入江区】
- JGKで市民によるまちづくり【「自分ごと化会議 in 松江」実行委員会】



事例発表の様子①



事例発表の様子②

7 パネル展示

希望された事例発表団体に、取組をパネル展示していただきました。
休憩時には特に多くの方にご覧いただきました。



パネル展示の様子①



パネル展示の様子②

8 アンケートより(抜粋)

【回収状況(事務局を除く)】

参加者数	回収数	回収率
127	84 (紙:75、ネット:9)	66% (小数点以下四捨五入)

発表事例数・発表時間、発表内容について

- ・イベントの発表時間をもっと長くともってほしい。内容説明をもっと詳しく知りたいです。
- ・数多くの事例を知るにはいい機会ですが、時間的に全体として短いのではないのでしょうか。来年以降の改善に期待します。
- ・事業費やその内訳について、全団体が発表の中に入れるとよいのでは。
- ・今日はテーマが8あり、各団体が7分の持ち時間でした。项目的には理解ができたが、もっと苦労した点とか、工夫した点などの話が聞いてみたかったので、一団体の持ち時間を増やして、テーマをもう少し絞ったほうが良いと思いました。

参加者について

- ・会場を見渡すと、自分のような若者はちらほらという程度でしたが、私は参加して良かったと感じました。自治会の方々や企業・団体の方々も若者と関わりを増やしていくべきだと言っておられたため若者もたくさんの方に参加してもらいたいと感じました。

ファシリテーターについて

- ・コメントのまとめがわかり易く、良かった。コメントの内容も良かった。

参考になった

- ・松江の若者、ママさんグループの積極的な活動を拝聴し、心強く、松江の将来が明るくなっているような気がした。よい日であった。
- ・今回参加をしてみて、自分の知識の低さや、市民の方々が抱えている危機感など、普段あまり考えないことについて触れることができました。
- ・今後の活動のヒントになるような発表で大変有意義な時間となりました。また松江のまち、自分たちの地域をよくしていこうという方がこんなにも多くおられる事に正直おどろきました。いい所です、松江は。
- ・つながりが活動の成否になりほとんどがうまくつながりづくりをされている。つながりづくりの手口をみつけていけるかがカギであろうと思いました。
- ・我が会の活動の参考にさせていただきます。地域の笑顔、住んでよかったと思えるようなまちづくり、イベントなどをしていきましょう。
- ・このようなイベントは初参加です。これを機会に『まちづくり』（先ずは自分の住む町内から）を考えてみたいと思います。
- ・住んでいる我が町のことで知らないことがたくさんあると知った。これをPRしてUIターン増につなげては？大変よい取り組み。各地の話をもっとききたいので、継続を。（特に資金繰りなど）私自身、学びの場になった。松江市内での事例、活動であるが、市外、県内（西部）へも好事例として伝わると、活性化の一助になるかと思った。市外にも伝えたい事例多し!!すばらしい。
- ・色々な問題があるのに、自分のこととして考えて行動している人たちがいることに勇気をいただきました。ありがとうございました。
- ・まちづくりの実践事例を見せていただき知識を深めることができました。私達の地域では、人口減少、少子高齢減少、少子高齢化が進んでいます。その中で若者定住、若者のグループ活動に関する事例を聞いてみたいと思います。
- ・各地域・各部間等での活動状況を知る事は大変重要である。全てが水平展開できる訳ではないが、参考にさせていただき自地域のまちづくりに役立てたい。今後も継続して開催されたい。

・多様な分野、担い手、とりくみ体制、協働のあり方が見えてよかったです。多様な分野、担い手、とりくみ体制、協働のあり方が見えてよかったです。

・地域活動の参考としたい。地域活動の参考としたい。

・我が所属している自治会は従来から自主防災組織の結成、活動を検討中ですが、会員の意見をなかなか集約出来ず、今だ組織結成、活動に到っておらず今回、この会に参加し、成功事例を参考に出来ればと考えています。

・昨年も参加させていただきました。松江のみなさんの熱量を感じ、様々な取り組みを知るとても昨年も参加させていただきました。松江のみなさんの熱量を感じ、様々な取り組みを知るとてもよいイベントだと思います。

運営・その他

・活動を始めて間もない事例(2, 3, 7)は2~3年後に発表されれば成果・課題がわかってより参考になるのではないかな。

9 発表者の声

・活動の発表という機会を頂き感謝しております。おかげさまで、活動の認知を広げることが出来ました。いくつか問い合わせも頂き、ご興味を持っていただいた方もおられたようです。今後、活動の幅も広がるとおもいます。ありがとうございました。

・おもしろかったなど、声をかけてもらいました。質問もあり、感想もいただき、ありがたかったです。

・皆さんのお話をきいて、勉強になりました。大変お世話になりました。

10 まとめ

今回のイベントは今年で4回目の開催となったが、大学生が取り組んだ活動や子育て世代の方の活動、自治会の活動など幅広い内容・世代の活動について発表いただくことができた。

参加者の方からは、「ぜひまねしてみたい」「イベントに一度行ってみたい」「松江の将来が明るくなっているような気がした」など、まちづくりに対する前向きな思いを感じていただけたことがうかがえ、「実践がイメージできる機会を提供する」という本イベントの目的は達成できたと考える。

発表団体の方からは「活動の認知を広げることができた」、「後日活動場所の見学に来ていただいた」などのお声を頂き、好事例を共有することでまちづくりの広がりのきっかけを作ることができた。

質疑応答の時には、会場・インターネット双方から多くの質問を受け付けることができ、ファシリテーターの進行のもと活発な意見交換が交わされた。団体の発表をより深掘りしながら事例を共有することができた。

発表時間や発表事例数については前回同様の規模としたが、発表時間が短かったというご意見が多かった。本イベントの目指すところや、「まちづくりでつながる日」との関係性などを、参加者に事前にもう少し丁寧な説明を行いたい。

今回は初めて島根県民会館での開催となったが、島根県立産業交流会館(くにびきメッセ)で開催した令和5年度と同規模の方に会場へお越しいただいた。YouTubeでのライブ配信も行っていたが、配信環境が安定せず視聴者の方にはご不便をおかけしたため、今回は安定した配信ができるよう対応していきたい。

イベント開催後は発表団体と参加者が活発に情報共有や名刺交換をする姿が見られた。来年度も「まちづくりを考える日」を様々なまちづくりの事例を共有する場にするとともに、活動団体や市民の方が直接交流し意見交換をしていきたいことで活動の輪が広がっていくきっかけを作りたい。

最後に本イベントは NPO 団体・島根大学・連合島根・公民館・社協・松江市のそれぞれの役員や学生、職員などから構成される「松江市まちづくり企画運営委員会」が企画・運営を行い、日ごろから市民活動・地域活動にご尽力くださっている方々のご協力があった開催をすることができた。

今後も皆様のご協力・ご意見を賜りながら、より充実したイベントとなるよう検討をしていきたい。